

活動分野	里山文化研究会		
タイトル	4月例会 房総のむら見学と機織り体験		
実施日時	平成29年4月16日(日) 10時~15時		
実施場所	印旛郡栄町 体験博物館千葉県立房総のむら		
受講者	FIC会員他スタッフ	9名	

活動の内容

今年発足した里山文化研究会初の例会は、里山の技のデパートである房総のむら見学会。まずは藍建て実演を見学。藍建てとはタデアイの葉を発酵させたスクモに灰汁や石灰等を加え、藍染が可能な状態にすること。今ではスクモも本物の藍も貴重品。むらのスタッフから詳細な説明をしてもらい皆熱心に質問していた。

初夏の空の下、散り始めたソメイヨシノや枝垂桜、咲き始めの関山、新緑まぶしいコナラやクヌギ、県内各地に伝わる様々な辻切りなど眺めながら下総の農家へ向かい、機織り体験でコースター作りに挑戦。苦戦しながら10cm角の木綿コースターが完成。

午後は風土記の丘資料館で鹿角ペンダント作り。各自選んだ角の小片を砥石で削りサンドペーパーで仕上げるのだが、非常に硬い鹿角に手指が痙攣しそうで皆四苦八苦。何とか仕上げた革ひもを付けるとまあまあ様になっていた。今年一番の暑さもあり、慣れない作業の連続で、くたびれたけれど充実した一日となった。



藍染



コースター完成



ペンダント完成



フデリンドウ



辻切り